

# 議会ガイド



## 平成27年第1回中泊町議会臨時会開催

平成27年1月16日に開催された臨時会(初議会)において、改選後、初顔合わせとなりました。新たに議長、副議長の選挙等の議会人事に係る諸案件を決定しました。

### 第4回定例会 (平成26年12月)

目次	■ 第4回定例会	……………	P 2
	■ 一般質問	……………	P 4
	■ 平成27年第1回臨時会	……………	P 6
	■ 委員会だより	……………	P 9
	■ 議会の動き	……………	P 10



# 「子育て充実」

中学校卒業まで医療費無料  
 保育料無料  
 平成二十七年四月施行

## 第4回 定例会

11月28日～  
12月4日

平成二十六年第四回定例会が、十一月二十八日から十二月四日までの日程で開催されました。  
 十二月三日には一般質問が行われ、川山光則議員、塚本悦子議員の二名が、町側の答弁を求めました。  
 最終日の四日には、質疑、討論、採決が行われ、条例改正や一般会計補正予算など議案十九件、報告六件、発議三件を、承認、可決しました。

### 補正予算

#### ■一般会計補正予算第九号

主な補正額(歳出)は次のとおり。

#### □総務費

地域人づくり事業業務委託料  
一六一万円

マイナンバーシステム改修業務委託料(徴税費)  
五八三万円

マイナンバーシステム改修業務委託料(戸籍住民基本台帳費)  
七六三万円

#### □民生費

保育所広域入所業務委託料  
五三二万円

保育士等処遇改善臨時特例事業補助金  
二一九万円

#### □衛生費

西北五環境整備事務組合負担金  
△四四九万円

#### □農林水産業費

価格下落・種子助成事業補助金  
一七〇七万円

#### □土木費

道路新設改良費  
△三八二七万円

今泉橋補修工事費  
一四三五万円

#### □消防費

五所川原地区消防事務組合負担金  
△七二三万円

消防団員出勤費用弁償  
一六六万円

#### □公債費

長期債元金  
一三二万円

長期債利子  
△七〇八万円

#### ■一般会計補正予算第十号(追加議案)

阿武咲関の十両昇進に伴う(仮称)中泊町大相撲後援会への補助金三百万円を計上

#### ■介護保険事業特別会計補正予算第三号

予算総額を四百五十八万三千円追加するもの。補正した主な歳出は、職員人件費、システム改修費、電気製品廃棄物委託料及び第一号被保険者過年度分保険料の還付金をそれぞれ計上。

#### ■国民健康保険特別会計補正予算第四号

事業勘定の歳出は、職員人件費、システム改修委託料及び診療報酬支払準備基金積立金の追加。歳入は繰入金及び前年度繰越金を調整のうえ計上。

歳入は一般会計繰入金を調整のうえ計上。

■特別養護老人ホーム  
静和園事業特別会計  
補正予算第二号

予算総額は既定のままで  
内部補正するもの。補正し  
た主な歳出は職員人件費を  
減額し、需用費、積立金等  
を追加。

■水道事業特別会計補  
正予算第三号

補正予算額を四十二万六  
千円追加するもの。主な支  
出予定は、職員人件費の追  
加。

## 条例関係

■国民健康保険財政調  
整基金条例の制定

基金の処分を財源不足及  
び補填等の財源などに充て  
ることができるよう制定  
する。

■特定教育・保育施設  
利用者負担金徴収条  
例の制定

支給認定された区分及び  
保育必要量の範囲内の利用

分について無料とするため  
制定する。

■議会議員の議員報酬  
及び費用弁償に関す  
る条例の一部改正

■特別職の職員の給与  
に関する条例の一部  
改正

■教育委員会教育長の  
給与及び勤務時間等  
に関する条例の一部  
改正

県人事委員会からの報告  
及び勧告に伴い、県に準じ  
て、議会議員、特別職、教  
育長の期末手当の支給割合  
を〇・一ヶ月引き上げるも  
の。

■職員の給与に関する  
条例の一部改正

県人事委員会からの報告  
勧告に伴い、職員の給与及  
び期末手当を増額するもの。

■津軽鉄道株式会社に  
対する固定資産税の  
課税免除に関する条  
例の一部改正

課税免除の適用期間を平

成二十七年度から平成二十  
九年度に改めるもの。

■乳幼児医療費給付条  
例の一部改正

乳幼児・子どもの対象範  
囲を小学校就学前から十五  
歳に達する日以後の最初の  
三月三十一日(中学校卒業)  
までに改めるもの。

■ひとり親家庭等医療  
費給付条例の一部改  
正

県ひとり親家庭等医療費  
助成事業実施要項及び市町  
村ひとり親家庭等医療費給  
付条例準則の一部改正に伴  
い、条例の一部を改めるも  
の。

■町営住宅条例の一部  
改正

新団地建設に伴い、条例  
の一部を改めるもの。

■保育所条例の廃止

町立保育所の民営化に伴  
い条例を廃止するもの。

■保育の実施に関する  
条例の廃止

保育の必要性の認定に関  
する規則の公布に伴い、廃  
止するもの。

## 専決処分

■国民健康保険特別会  
計補正予算第三号

診療施設勘定において、  
医師の休暇に当たり、派遣  
医師に対する謝礼が必要と  
なったため、派遣医師謝礼  
金二十五万円を追加。

■一般会計補正予算第  
五号

八月六日に発生した大雨  
被害の災害復旧費として農  
業用施設災害復旧費二百三  
万円、道路橋梁災害復旧費  
二百二十万円を計上。

■一般会計補正予算第  
六号

八月六日に発生した大雨  
被害において被災した農家  
への災害見舞金として農業  
災害見舞金九百万円を追加。

■一般会計補正予算第  
七号

八月六日に発生した大雨  
による農業用施設災害復旧  
事業の実施のため、農業用  
施設災害復旧費七百七十三  
万七千円を追加。

■一般会計補正予算第  
八号

衆議院議員選挙の実施に  
伴い九百四十九万九千円を  
追加。

■災害復旧事業の施行  
について

八月六日に発生した大雨  
被害において被災した農業  
用施設について、町営によ  
る災害復旧工事として施行  
するため専決処分したもの。

## 発議

■軽度外傷性脳損傷の  
周知、及び労災認定  
基準の改正などを求  
める意見書

■農業委員会、企業の  
農地所有、農協改革

など、「農業改革」  
に関する意見書

■政府による緊急の過  
剰米処理を求める意  
見書

各意見書を国関係省庁へ  
提出。

## その他

■県市町村総合事務組  
合を組織する地方公  
共団体数の増加及び  
県市町村総合事務組  
合規約の変更

共同処理する事務のうち、  
市町村税等の滞納整理に関  
する事務へ青森市を加え、  
それに伴う規約を変更する  
もの。



# 一般質問

## 『所得低下・従事者減少』漁業の行く末は 人口減少対策、本町の取組は



川山光則議員

また藻場の造成事業など環境整備にも努めてきたが、地域創生の計画の中で再度新たな視点に立つて漁業の振興策を最重点課題として取り組んでいく。

**A**

■藤田水産観光課長

我が町の水産業をめぐ  
る状況について、昨年度  
の漁獲高は約十億八千万  
円で、今年度は十一月末  
現在では七億七千万とな  
っている。対前年比約三  
億一千万の減となってい  
る。

**A**

■小野町長

漁業の活性化を目指す  
ため、浜の活力再生プラ  
ンの策定、燃油高騰に左  
右されない経営を目標と  
する省燃油活動推進事業、

現在、漁業者は約四百  
四十名で、六十五歳以上  
の漁業者は全体の約七十  
%を占めている。一方、  
五十歳未満の漁業者は約  
二十六%で推移され、新  
規漁業者や漁業後継者を  
確保し育成することが急  
務となっている。

他町でも多数の外国人  
に頼っているということ  
であります。現在、漁

**Q**

業分野ではマグロはえ縄  
漁業、イカ釣り漁業、そ  
してカニ、エビ漁業等の  
各分野で毎年数百人が入  
港し、技能の講習を受け  
ている。日本で開発され  
て技能、技術、そして知  
識等を習得することで、  
海外移転を図り、社会の  
発展に寄与することを目  
的としている。

**A**

■小野町長

散の直前、地方創生法が  
成立した。国では地方自  
治体による人口減少対策  
を盛り込んだ総合戦略の  
策定を求めているように  
すが、当局の取り組みは。  
また地方創生法の中でも  
この法律はまち・ひと・  
しごと創生法というのだ  
そうです。

このたびの衆議院の解

地方創生については、



タラの水揚げの様子

地方がみずか  
ら考え、責任  
を持つて取り  
組むことが重  
要であること  
から、都道府  
県と市町村に  
は国の計画と  
整合性をとり  
ながら、これ  
から地域の特  
性を踏まえた  
地方版の人口  
ビジョンと総  
合計画を策定  
することとな

っている。  
このことから現時点で  
は具体的な施策は申せな  
いが、当町の場合は何と  
してもこれまで地域を支  
えてきた農林水産業や観  
光の振興、地域資源を生  
かした個別産業分野の戦  
略を推進し、これにより  
若い世代の経済的な安定  
を図り、また少子化対策  
の一環といたしまして二  
十七年度は中学校卒業ま  
で医療費の無料化を実施  
するため、本定例会に条  
例改正の提案をしたとこ  
ろである。  
さらには、若い世代の  
皆さんが一人でも多く我  
が町に定住できるように  
するため、結婚、出産、  
子育ての希望をかなえる  
よう、最重点課題とした  
施策に取り組んでいきたく  
いと考えている。  
このため、来年度の認  
定こども園への制度がえ  
を契機とし、保育料の無  
料化を本議会に提案した。

# ・合併十周年、町の展望は ・AED(自動体外式除細動器)の設置状況について



塚本悦子議員

**Q** 合併をして十年を迎えようとしている。合併によるプラスの対策、マイナスの対策について現在の進捗状況を総括し、将来の中泊町に向けての展望について当局の考えは。

**A** **■小野町長**  
平成二十年中泊町行財政改革大綱を策定し、平成二十四年度までの五年間、全庁を挙げて改革

に取り組んできた。事業の補助金の見直しや退職者の不補充による職員数の適正化などを行い、取り組み効果としては五年間の当初計画額が十億五千二百五十一万七千円に對し、実績額は十五億四千九十一万三千円、達成率が百四十六・四%となっている。

現長期計画については、平成十八年度から十年間の計画として活力・安心・快適・協働をテーマに各種振興施策の積極的な推進に努めてまいり、平成二十七年で終了することから、平成二十八年を初年度とする十年計画の策定について既に指示している。

合併当初の予測をはるかに超える過疎化、少子高齢化が進んでおり、今後さらに厳しさが増すことが予測される財政状況等も勘案し、本町の地域特性や固有の資源を生かすような地域創生を計画の中に取り込み、町の主

要産業である農林漁業を中心とした関連産業の振興を図り、若い人たちが安心して定住できるまちづくりを目指し、知恵を出し合いながら検討していく。

**Q**

AEDの使用が医療従事者以外の一般人にも解禁されてから十年になる。そこで、当町では設置情報などの把握、AEDマップの登録、住民に對する情報提供、訓練など、いざというときにAEDが機能するような日ごろの準備の充実など、町民への周知はどのようなになっているのか。

**A** **■飯塚総務課長**  
町の施設については管内の小中学校や役場、静和園などのほか、平成二

十一年に国の経済対策の予算で保育所、公民館等の集会施設、道の駅やピユアなど人の多く集まる施設について設置しており、町の主要な施設についてはほぼ設置されている状況となっている。グループホームなどの福祉関連施設と民間の施設については、現在確認できるところは九事業所となっている。

機械の使用

用については、二年に一度講習を受ける必要があることから、それぞれの施設において講習を受けている。講習については、依頼をすれば、日程調整の上、中里消防署等で講習を受けることができる。

町民への周知については、町民への周知はどのような方法がよいか検討させていただ

できる。施設と関係のない個人の方でも可能なこと。  
町内の設置情報と町民への周知については民間の事業所については個人情報関係もあり難しい面もあるが、町の設置施設については今後どのような形で周知方法がよいか検討させていただ



AEDを使用した訓練の様子



# 初当選二名 新体制でスタート

## 議長に兵庫桂蔵氏・副議長に角田廣氏を選出

### 第1回臨時会

平成27年1月16日

平成二十七年第一回中泊町議会臨時会が平成二十七年一月十六日に開催されました。

本臨時会は、中泊町議会議員選挙後、初めての議会となり。議会が適法に活動するためには議会の内部構成を整えなければなりません。そのため、正・副議長の選挙や常任委員等の専任、一部事務組合議会議員の選挙など、議会人事に係る諸案件を決定しました。



副議長  
角田 廣



議長  
兵庫 桂蔵

#### ■議長・副議長就任あいさつ

町民の皆様には、日頃より町議会活動並びに町政各般にわたり、ご理解とご協力をいただき、議会を代表し心から感謝申し上げます。

私も、去る一月十六日開催の第一回中泊町議会臨時会におきまして、議員各位のご推挙により、議長並びに副議長を務めさせていただくことになりました。身に余る光栄と感激いたしますとともに、責務の重さを痛感しているところであります。議長、副議長として全力を傾け、公正かつ円滑な議会運営に取り組んでまいります。

さて、中泊町が誕生し、本年三月で合併十年を迎えます。町では少子高齢化や過疎化が進行し、また所得の低下等、町政において喫緊の課題が多々あります。執行機関との真摯な議論により町政の諸課題に有効な政策を推進していかねければなりません。各地域の特徴を生かしながら福祉や子育て支援、教育の充実、産業の振興等、住民サービスの一層の向上を目指し、既成概念にとらわれない斬新な発想のもと、諸課題に挑戦してまいります。

また、議会運営につきましては、円滑な議会運営を図るとともに、町民の皆様から多様なご意見を頂き、議員各位と協議の上、情報共有をし、開かれた議会となるよう努めてまいります。

今後とも、中泊町議会に対しまして、町民の皆様のご指導とご協力を賜りますようお願いを申し上げます、就任のあいさつとさせていただきます。

# 常任委員会等の新構成

## 総務企画常任委員会



委員長  
野上 祐一

### 委員会の所管

総務課、税務課、財政課、会計課、小泊支所、議会事務局、選挙管理委員会



兵庫 桂蔵



白川 孝憲



野上 憲幸



副委員長  
秋田 博

## 民生文教常任委員会



委員長  
荒関 富雄

### 委員会の所管

福祉課、町民課、上下水道課、静和園、教育委員会



秋元 隆



角田 廣



青山 雅晴



副委員長  
米塚 慎一

産業建設常任委員会



委員長  
山田光春

委員会の所管

農政課、水産観光課、環境整備課、農業委員会



長利 司



川山光則



沖崎 勲



副委員長  
鈴木 長一郎

議会運営委員会

円滑な議会運営のため、全般について協議・意見調整を図る場として設置

委員	委員	委員	副委員長	委員長
米塚 慎一	沖崎 勲	野上 祐一	川山 光則	長利 司

一部事務組合議会議員

五所川原地区消防事務組合議会議員

沖崎 勲

山田 光春

西北五環境整備事務組合議会議員

青山 雅晴

西北五広域福祉事務組合議会議員

秋田 博

つがる西北五広域連合議会議員

白川 孝憲

一般質問はインターネット・ライブ中継がご覧になれます。

パルナス・小泊支所・すくすくしたまえ館のロビーにもテレビ中継されています。ぜひご利用ください。



HPアドレス  
<http://www.town.nakadomari.lg.jp/index.cfm>

監査委員(議会選出)  
白川議員の選任に同意

監査委員は、地方自治法の規定により、議会の同意を得て、識見を有する者及び議員のうちから、町長が選任することになっております。議会選出の監査委員については、白川孝憲議員が推薦され、選任について同意しました。



## 産業建設常任委員会

(長利 司 委員長) 11月21日(金)

### 〈案 件〉

- 農業委員会、企業の農地保有、農協改革など、「農業改革」に関する陳情
- 政府による緊急の過剰米処理を求める陳情
- その他



産業建設常任委員会の様子

## 民生文教常任委員会

(川山光則 委員長) 11月25日(火)

### 〈案 件〉

- 経度外傷性脳損傷の周知、及び労災認定基準の改正などを求める陳情
- その他



議会運営委員会の様子

## 議会運営委員会

(兵庫桂蔵 委員長) 11月25日(火)

### 〈案 件〉

- 平成26年第4回中泊町議会定例会会期日程について
- 提出議案について
- 新規に受理した陳情等の取り扱いについて
- その他

## 傍聴席は、 あなたの席です!!

中泊町議会平成27年第1回定例会は、3月上旬です。

会議は公開されており、どなたでも議会の傍聴ができます。

平成26年第4回定例会の傍聴者は、35名でした。

皆さんの傍聴をお待ちしております。

一度、町議会へ足を運んで、  
自分の目でご覧下さい



12月3日の一般質問では2月開催予定の子ども議会のため、中里小学校6年生(31名)の皆さんが傍聴に訪れました。

10月

2日 西北津軽郡町議会議長会第二回協議会  
28日 正副議長・事務局長研修会

11月

17日 議会運営委員会視察研修会  
18日 知事を囲む行政懇談会  
20日 西北つがる地区身体障害者社会参加促進大会  
21日 産業建設常任委員会  
25日 議会運営委員会  
民生文教常任委員会

12月

27日 中泊町善行者・功労者表彰式  
28日 第四回定例会開会日  
3日 定例会一般質問  
4日 単行案審議・採決・閉会  
12日 北津軽郡社会福祉大会

活動報告

議会運営委員会視察研修

～青森県階上町議会にて～

十一月十七日(月)、議会運営委員会視察研修を実施しました。  
近年の集中豪雨により、当町では八月六日に大雨被害を受け、また政府の発表において、大規模地震発生時に最大十七メートルの津波が押し寄せるという全国町村で七番目の公表がされました。  
そこで、議会会期中に災害等が起こった場合の議会活動について、会期中に東日本大震災の被害に遭われ

た階上町議会へ訪問し、研修を受けさせていただきました。

研修項目は、①東日本大震災時の議会運営への影響及び対処について、②被災地に対する議会独自の活動について、③津波に対する避難計画等について、の3点です。

協議会や各種委員会の開

催、また知事への要望等を時系列で教えていただいた他、現地視察時の状況や各議員独自の活動、被災後の復興計画、避難計画をご教授いただきました。

質疑応答では各委員会から活発な議論が行われ、最後に当委員長より研修受け入れに対するお礼のあいさつを行い終了しました。



議会運営委員会視察研修